



2019年11月1日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 光 陽 社
代 表 者 代表取締役社長 犬養 岬太
(コード番号 7946)
問合せ先責任者 取締役業務本部長 富 正俊
(T E L 0 3 - 5 6 1 5 - 9 0 6 1)

当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除についてのお知らせ

当社株式は、2019年10月において、月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないこととなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2019年8月の月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文（時価総額）に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りましたが、2019年10月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上になりましたことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準に該当せず、猶予期間入りの指定が解除されることとなりました。

(ご参考)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| (1) 2019年10月の当社月間平均時価総額 | 1,010,452,170円 |
| (2) 2019年10月31日時点での当社株式時価総額 | 1,043,074,500円 |
- (2019年10月31日終値 745円×2019年10月末日上場株式数 1,400,100株)

2. 今後の見通しについて

当社は、2011年3月期以降、安定的に利益を計上し、従前に比べ収益構造が改善しております。2019年6月には、21年ぶりに期末配当20円を実施し、2020年3月期末の配当予想につきましても、2019年8月9日に無配予想から1株当たり10円予想に修正することを決定した旨を東京証券取引所に開示いたしました。

当期の連結業績見通しにつきましては、売上高4,480百万円、営業利益50百万円、経常利益60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益170百万円を予想しております。(当社は、2020年3月期第1四半期より、従来の単体決算から連結決算へ移行しているため、対前期増減率については記載しておりません。)

2019年5月に開示いたしました中期経営計画(2019年度～2021年度)を確実に実行することにより、さらなる収益性の改善ならびに財務体質の健全化をはかり、企業価値の向上を目指し、今後とも東京証券取引所における上場を維持してまいります。

株主の皆様をはじめ、関係者の皆様には大変ご心配をお掛けしましたが、今後とも、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上